

## 関係代名詞 &lt;ページ1&gt;

## ◆「関係代名詞(かんけいだいめいし)」とは…◆

名詞を「修飾」する時に使われるもの。

「修飾」はいろいろなパターンがあるんだけど、その中の1つが、

関係代名詞を使うパターンです(^o^)

※「修飾」については、「修飾という考え方」のプリントで詳しく学んでみてね。

「修飾」について少し復習すると、例えば、

・その女の子は、歌手だ。

これは「修飾」部がない文。

この文に出てくる「(その)女の子」や「歌手」という名詞に対して、

「どういう女の子」なのか / 「どういう歌手」なのか という説明を付け加えるのが、「修飾」部の役目。

1. 毎日テレビに出ているその女の子は、歌手だ。
2. 犬と遊んでいるその女の子は、歌手だ。
3. その女の子は、若者に人気のある歌手だ。
4. その女の子は、昨年ニューヨークでデビューした歌手だ。

\_\_\_\_\_部が修飾部。

「これこれこういう女の子」、「これこれこういう歌手」と、の名詞を修飾しているね。

ちなみに、いま例に挙げた文(1.~4.)の「修飾」は、すべて関係代名詞を使って書けるのだ！  
後ほど try してみましょうね♪

## ① 「主格(しゅかく)」の関係代名詞

例えば、

Lucy is a teacher who is liked by everyone. ルーシーは皆に好かれている先生です。

↓

名詞を「修飾」する形が入っている英文だね(^o^)

この英文は、もともと、次の2つの英文から成り立っています。

Lucy is a teacher. / She is liked by everyone.

ルーシーは先生です。 / 彼女は皆に好かれています。

この2つの文を、1つにつなげてみると、

Lucy is a teacher she is liked by everyone. (←2つの文をそのままくっつけただけ)

…とはならず、

Lucy is a teacher **who** is liked by everyone. (ルーシーは皆に好かれている先生です。)

と、なります。 さあ！ ↑ここが何やら変化したよね！

この **who** が、名詞を修飾する時に使われる(「修飾」してるよ！ということを示している)

「関係代名詞」なのです(^▽^) ※関係代名詞の who は「誰」という意味にはならないので注意！

しかも…

この例文で言うと、who は、もともとは “she” だったよね。そしてこの she は、

もともとの文(2つあった文のうちの2番目の文: She is liked by everyone.)の中の、主語。

主語である she の代わりに使われる who は、「主格(しゅかく)」の関係代名詞、と呼ばれるのです。

→ これ大事なポイント！ しっかり頭に(心に?)刻んでおいてね。(。)

## 関係代名詞 &lt;ページ2&gt;

もう1つ例文。

This is a book which is very famous in Japan.

これは日本でとても有名な本です。

↓

もともとの2つの英文は、

This is a book. / It is very famous in Japan.

これは本です。 / それは日本でとても有名です。

この2つの文を、1つにつなげてみると、

This is a book it is very famous in Japan. (←2つの文をそのままくっつけただけ)

…とはならず、

This is a book **which** is very famous in Japan. (これは日本でとても有名な本です。)

と、なります。 ↑ここが今度は who ではなく **which** に！

※関係代名詞の which は「どちら」「どの」等という意味にはならないので注意！

(・▽・) < なぜ、who ではなく which が使われているのか？

それは、関係代名詞を使った修飾部によって修飾されている 名詞 の違いにあります。

Lucy is a teacher **who** is liked by everyone. (ルーシーは皆に好かれている先生です。)

This is a book **which** is very famous in Japan. (これは日本でとても有名な本です。)

a teacher と a book の違い… どんな違いがあるかな？

イメージとしては、

人間

|

人間以外

↑壁

こんな感じ。

修飾される名詞が 人間 だったら who を使う | 人間以外 だったら which を使う

という決まりなのです (^\_^ )

★ ここで一息。知っておくとお得…かもしれない関係代名詞用語 ★

Lucy is a teacher **who** is liked by everyone. (ルーシーは皆に好かれている先生です。)

This is a book **which** is very famous in Japan. (これは日本でとても有名な本です。)

↑

この、「関係代名詞を使った修飾部によって修飾されている 名詞」のことを、

文法用語で「**先行詞**(せんこうし)」と呼びます。

英文の中での位置を見ると、

関係代名詞(who や which)を使った修飾部 よりも前に(先に)出てくるから、こう呼ばれるわけ(^o^)

【ミニ練習問題】 次の空欄に入る関係代名詞は、who または which のどちらが適切か。

- (1) He is a man ( ) can speak English and Japanese.
- (2) I have some friends ( ) go to college. ※college(カレッジ) = 大学
- (3) That is a house ( ) was built many years ago.
- (4) The students ( ) are in this room now are going to visit Canada.
- (5) A dog ( ) was here yesterday is mine.

## 関係代名詞 &lt;ページ3&gt;

## ② 「目的格(もくてきかく)」の関係代名詞

「主格」に続きまして今度は「目的格」。

Lucy is a teacher who everyone likes. ルーシーは皆が好きな(好きだと思っている)先生です。

↓

主格の時の例文と似ているけど、who 以下が少し違っているのがわかるかな？

もともとはこの2つの英文から成り立っています。

Lucy is a teacher. / Everyone likes her.

ルーシーは先生です。 / 皆が彼女を好きです。

この2つの文を、1つにつなげてみると、

Lucy is a teacher everyone likes her. (←2つの文をそのままくっつけただけ)

…とはならず、

Lucy is a teacher **who** everyone likes. (ルーシーは皆が好きな先生です。)

と、なります。 さあ！ who が使われているという点は同じだけど、「主格」とどこが違うのかな？

【主格の関係代名詞】 Lucy is a teacher. She is liked by everyone.

↓

Lucy is a teacher **who** is liked by everyone.

【目的格の関係代名詞】 Lucy is a teacher. Everyone likes her.

↓

Lucy is a teacher **who** everyone likes.

…おおっと！ 主格の時と大きく違う点があるね！

もともとの文(2つあった文のうちの2番目の文: Everyone likes her.)の中の、

目的語(=「〇〇を」「〇〇に」(まれに「〇〇が」)という語句のことを「目的語」と呼ぶよ)が、who に変化していますね。

この who のことを、「目的格(もくてきかく)」の関係代名詞、と呼ぶのです。( ^ \_ ^ )

では、なぜ、こうではないのか？ … Lucy is a teacher. Everyone likes her.

↓

Lucy is a teacher **who** likes her. … ×

もとの文の主語(この場合は everyone)を who に変えて、主格の関係代名詞！という可能性もあるよね。

でも、これは間違い。この場合は、everyone じゃなくて her を変えなければいけないのです。どうしても。

(^▽^)< ど、どうしても？

これについては次のページで詳しく説明しよう！ しばし待たれよ！ その前に…

【ミニ練習問題】 次の英文の「主語」に 下線 を、「目的語」に 波線 を引きなさい。和訳もせよ。

(1) I like him ( )

(2) Ken saw Miki yesterday. ( )

(3) My sister is eating an apple now. ( )

関係代名詞 <ページ4>

(^▽^)< さてさてお待ちかね。なぜ、everyone じゃなくて her を who に変えなければならないのか？

これは、「先行詞」が大きく関わっているよ！

先行詞とはつまり、「修飾したい名詞」のことだよ。

Lucy is a teacher. Everyone likes her. (ルーシーは先生です。 / 皆が彼女を好きです。)

→ この2つの文を、「修飾」を用いた形を入れながら1つにつなげたい場合、

「ルーシーは皆が好きな(好きだと思っている)先生です。」としたいよね。

つまり先行詞は、先生。英文の中で言えば、a teacher。

この、「先行詞」と同じ人(あるいは人間以外のもの)を指す語句を、関係代名詞に変えるのだ！！



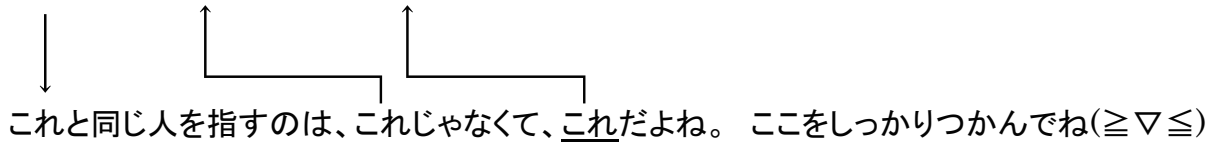
すっごく重要なポイントなので、めいっぱい目立たせました

目が痛かったらごめんなさいね(@\_@)

なぜ、everyone じゃなくて her を who に変えなければならないのか？

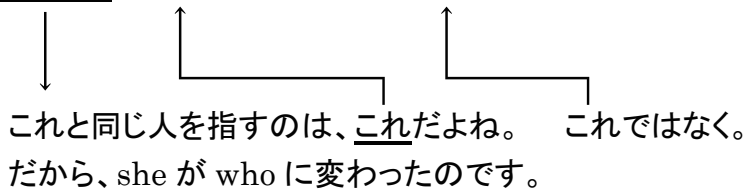
その答えは：「先行詞」と同じ人(あるいは人間以外のもの)を指す語句が、her だから！

Lucy is a teacher. Everyone likes her. (ルーシーは先生です。 / 皆が彼女を好きです。)



【主格】の時も、実はこれがさりげなく行われていたのだ。

Lucy is a teacher. She is liked by everyone. (ルーシーは先生です。 / 彼女は皆に好かれています。)



目的格でもう1つ例文。

This is a book which I bought yesterday. これは私が昨日買った本です。

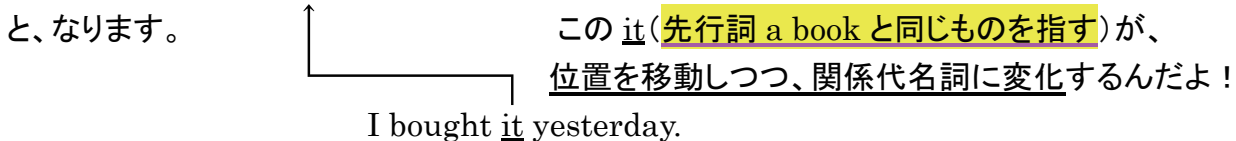


もともとの2つの英文は、 This is a book. / I bought it yesterday.  
これは本です。 / 私はそれを昨日買いました。

この2つの文を、1つにつなげてみると、

This is a book I bought it yesterday. (←2つの文をそのままくっつけただけ)  
…とはならないことは、もう気づいてるよね(^o^)

This is a book which I bought yesterday. (これは私が昨日買った本です。)



人間 | 人間以外

↑ 壁

この壁は目的格の時にも存在するよ。

先行詞が 人間 だったら who を | 人間以外 だったら which を使ってね♪

## 関係代名詞 &lt;ページ5&gt;

【主格】【目的格】とも、もう1例ずつ挙げておきましょう。

The boy is my brother. / He is standing under the tree.

その少年は私の兄(弟)です。 / 彼は木の下に立っています。

→ この2つの文を、「修飾」を用いた形を入れながら1つにつなげたい場合…可能性は2つ!

・ その少年を先行詞にして、「木の下に立っているその少年は、私の兄(弟)です。」…◎

・ 私の兄(弟)を先行詞にして、「その少年は、木の下に立っている私の兄(弟)です。」…??

2番目のつなげ方は、ちょっと意味が…(^▽^)

「修飾」が入っている文としてちゃんと成り立っているのは、1番目のつなげ方だね。

★ 2つの文を「修飾」の形を入れながら1つにつなげたい場合、★

★ 先行詞をどれにするか、これ大変重要なポイント! ★

では、つなげてみよう。

The boy is my brother. He is standing under the tree.

先行詞

先行詞と同じ人を指す語

The boy who is standing under the tree is my brother. 【主格】

2番目の文(He is ~)全体が、修飾部として、最初の文の The boy is my brother.

↑ここに割り込む感じ。

A picture was beautiful. / He took it in Yokohama.

写真は美しかった。 / 彼はそれを横浜で撮った。

→ 写真を先行詞にして、「彼が横浜で撮った写真は美しかった。」…◎

では、つなげてみよう(^o^)

A picture was beautiful. He took it in Yokohama.

先行詞

先行詞と同じものを指す語

A picture which he took in Yokohama was beautiful. 【目的格】

A picture is beautiful.ここに割り込んでるね~。

(・▽・)< 何となく、つかめてきているかな? 実際に自分で書いてみるともっと良くわかると思うよ♪

【ミニ練習問題】 次の2つの英文を、関係代名詞を使って1つの英文にしなさい。

また、英文の中の先行詞を 箱 で囲み、修飾部に 下線 を引きなさい。さらに和訳もせよ。

(1) Mary is a girl. She can play the guitar very well.

→ ( )

和訳:( )

(2) I have the camera. My father used it last year.

→ ( )

和訳:( )

(3) The student is his friend. He is studying in the library.

→ ( )

和訳:( )

## 関係代名詞 &lt;ページ6&gt;

( ^▽^ )φ ここまでのことをまとめるよ～！ φ( ^▽^ )

## ◆「関係代名詞」のポイント◆

① 「修飾」の一種である。

→ 英語は 名詞 修飾部 / 日本語は 修飾部 名詞 という形(語順)になります。

② 「主格」と「目的格」の2種類がある。

本当は「所有格」という第3の関係代名詞もあるんだけど、これは高校の英語で習う時のお楽しみ♪

③ 関係代名詞を使って2つの英文を1つにつなぐ場合は、先行詞になる名詞をまず探し、それと同じ人(あるいは人間以外のもの)を指す語句を、関係代名詞に変えて、つなぐ。

↳ やっぱり目が痛いのでちょっと地味にしました…平気な人は自分で蛍光ペン等で塗ってねφ( . . )

④ 「先行詞」とは、「関係代名詞を使った修飾部」によって修飾されている名詞のこと。

⑤ 先行詞が人間の時 | 人間以外の時 で違いがある。

	先行詞が人間	先行詞が人間以外
主格	<b>who</b> / that	<b>which</b> / that
目的格	<b>who</b> (目的格は、ひと昔ふた昔前には whom というのも習ったけど、今は中学ではほぼ習わないようです) / that 《省略可能》	<b>which</b> / that 《省略可能》

★目的格の《省略可能》ということについては、次のページで詳しく。

★主格・目的格、人間・人間以外、すべての場合に使える「ワイルドカード」みたいな that という関係代名詞があります。これは便利そうだね o(・▽・)o♪

でも、だからといって、どんな問題にも that で答えとけばいいや！ということにはならないのです…

試験問題では、ほぼ必ず、『that 以外の関係代名詞を使って答えること。』と注意書きがされています。

だから、who と which の区別ができて正しく書けるように、ちゃんと覚えておいてねφ( ^o^ )

ちなみに…

☆ all(すべての～) / any(どの～でも) / the only(ただ1つの～) などの語句

☆ the first(最初の～) / 他、「何番目の～」などの語句

☆ 形容詞・副詞の最上級(最も～、いちばん～)

などの語句が先行詞に付けられている時は、

関係代名詞は who や which よりも that のほうが好まれると言われています( ^▽^ )b

( ≥▽≤ ) < ここまでの内容、つかめたかな？

関係代名詞は、中学レベルの英語の最大の山場！φ( . ; ) 身につけるのは大変だと思います。

ここまで何となく理解できた人は、さらに一步、上の段階へ…

自信を持って使いこなせるように、「イチから(初級)」の練習問題にぜひ try してみてね♪

## 関係代名詞 &lt;ページ7&gt;

## ◆【目的格】の関係代名詞は《省略可能》。◆

そのままの意味です。つまり、こうです。

Lucy is a teacher **who** everyone likes. (ルーシーは皆が好きな先生です。)

This is a book **which** I bought yesterday. (これは私が昨日買った本です。)

A picture **which** he took in Yokohama was beautiful. (彼が横浜で撮った写真は美しかった。)

Lucy is a teacher everyone likes. (和訳同じ)

This is a book I bought yesterday. (和訳同じ)

A picture he took in Yokohama was beautiful. (和訳同じ)

} 目的格の関係代名詞は省略可能！なのです。

これらの英文、もしかして…と思った人。(^▽^)< 正解！ それ正解！（たぶん）

もしかして…と思った人も、思わなかった人も、今すぐ、『「修飾」という考え方』のプリントの

② 「接触節」を使う。 の項を振り返ってみてくださいな！

↓  
名詞 + 直後に「節」【主語+動詞(+その他)】 これね！ この形！

(・▽・)< I want a book Mr. Yamada wrote last year. これね♪

つまり、

目的格の関係代名詞が省略された「修飾」の文 = 接触節を使った「修飾」の文 なのです。(.)

## ◆さらに…◆

Lucy is a teacher (**who** is) liked by everyone. (ルーシーは皆に好かれている先生です。)

The boy (**who** is) standing under the tree is my brother.

↓

(木の下に立っている少年は私の兄(弟)です。)

(主格の関係代名詞 + be 動詞) も、省略される場合があります。

省略してみると…

Lucy is a teacher liked by everyone. (和訳同じ) → 名詞 + 直後に過去分詞

The boy standing under the tree is my brother. (和訳同じ)

→ 名詞 + 直後に現在分詞(ing形)

これらは、『「修飾」という考え方』のプリントの

① 現在分詞・過去分詞を使う。 の項で学習した「修飾」の文 なのですね(≧▽≦)

- ◆ ということは…(まとめ) ◆
- ◆ 「修飾」の表し方のうち、「現在分詞・過去分詞」「接触節」を使う表し方は、 ◆
- ◆ 「関係代名詞」を使った表し方が元になっている と考えることもできるわけです。 ◆

バラバラだった「現在分詞・過去分詞での修飾」、「接触節での修飾」、  
「関係代名詞での修飾」が、ここで一気につながったかな？

(;▽;)< 「修飾」の形って！ つながってるんだ～！

と、感動の涙が流れている人！ すばらしい☆(笑)

その感動を大切に、さっそく問題練習に励んでくださいね♪

## 関係代名詞 &lt;ページ8&gt;

## ◆さてさて、最後に…◆

この解説プリントの1ページめ冒頭に載せていた文を、関係代名詞を使った英文に直してみましようか！

1. 毎日テレビに出ているその女の子は、歌手だ。
2. 犬と遊んでいるその女の子は、歌手だ。
3. その女の子は、若者に人気のある歌手だ。
4. その女の子は、昨年ニューヨークでデビューした歌手だ。

ヒントを差し上げますので、自分で書けちゃいそうな人はどんどん try してみてね( ^▽^ )φ♪

1. テレビに出る(出演する) = perform(パフォーマンス) on TV
2. 遊ぶ = play ちなみに、2. の文は「現在分詞」の修飾でも書けるね！
3. 若者に(若者の間で) = among(アマンダ) the young people
4. デビューする = make one's debut(デビュー) ※one's は my, your, his, ... など。

では～♪ 解答を書いとくよ～♪ >川^▽^川 ←歌手の女の子(?), 「修飾」プリント以来の再登場♪

1. The girl who performs on TV every day is a singer. 【主格】

↑ももとの文の主語は she なので、三人称単数の s が必要。

※「出ている」という言い方だけど現在進行形ではなく、every day(毎日)という時は現在形で書こう！

2. The girl who is playing with a dog is a singer. 【主格】

この「遊んでいる」は現在進行形で OK ♪

(who is) を省略すれば、「現在分詞」の修飾だね。→ The girl playing with a dog is a singer.

3. The girl is a singer who is popular among the young people. 【主格】

4. The girl is a singer who made her debut in New York last year. 【主格】

過去形に！ ↑ ↑ her にできたかな？

さらにもう1つ try してみよう♪ 5. 私が昨日会ったその女の子は、歌手だ。

関係代名詞を使っても書けるし、接触節を使っても書けるよφ(^o^ )

→ 解答 : 関係代名詞 The girl who I met yesterday is a singer. 【目的格】

接触節 The girl I met yesterday is a singer. ※それぞれ met は saw でも OK。

1. ~ 4. までは【主格】の関係代名詞の文だったけど、5. だけは【目的格】の関係代名詞の文だね。

たとえば 1. 毎日テレビに出ているその女の子は、歌手だ。 } 修飾部 に「ある違い」が  
5. 私が昨日会ったその女の子は、歌手だ。 } 出てるんだけど、わかるかな？

↓

修飾部 に「私が」という《主語》(「会った」という動作を誰がしているか)が入っているのが特徴。

↳ これが【目的格】の関係代名詞、または接触節を使う時の特徴。

たとえば 1. は、「出ている」という動作を誰がしているかというのは 修飾部 には入っていないの。

その動作をしているのは誰かといえば、その女の子 = 先行詞だよ。(先行詞自体が動作の《主語》)

これが【主格】の関係代名詞を使う時の特徴。←

☆ (^▽^ )φ これ、英作文で役立つ知識ね！ 問題練習する時に活用してくださいね(^▽^ )φ ☆